

平成 25 年度 事業報告

特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES

平成 25 年度、NPO 法人 CCC・TIES では、以下の事業を行った。

1. 会員加入状況報告

平成 25 年度の本法人会員数は、下表のとおりである。

平成 26 年 3 月 31 日現在の会員加入状況 ():平成 24 年度実績

区 分	会 員 数
正会員 (個人)	18 (21) 名
正会員 (団体)	11 (11) 団体
情報会員	0
賛助会員	8 (9) 団体

2. 実施事業

(1) シンポジウム・ワークショップの開催

・平成 25 年 6 月 15 日(土) TIES ワークショップ

- テーマ : オープンソースの学習支援システムを核とした 大学の ICT 教育
- 日 時 : 平成 25 年 6 月 15 日(土)13:50~17:50
- 場 所 : マイドームおおさか 8F 第 3 会議室
- 参 加 者 : 100 人(内 ライブ参加 32 名)

<プログラム>

事例報告:「オープンソース LMS 活用事例:熊本大学での Moodle の運用と教材例」
熊本大学 喜多敏博

事例報告:「学認を活用した大学連携 IT 基盤の構築に向けて」
国立情報学研究所 中村素典

事例報告:「eラーニングを活用した予習復習の徹底による講義の実質化」
帝塚山大学 日置慎治

報 告:「TIES V8 オープンソースにてリリース開始」
NPO 法人 CCC・TIES 堀真寿美

報 告:「大規模オンラインコース基盤への取組」
smileNC 小林信三

報 告:「TIES におけるオープンエデュケーションの取り組み」

NPO 法人 CCC-TIES 副理事長 小野成志

・平成 25 年 9 月 21 日(土) TIES 夏のシンポジウム

- テーマ：オープンエデュケーションにおける TIES のゆくえと CHiLO Book の可能
- 日時：平成 25 年 9 月 21 日(土)13:00～17:45
- 場所：マイドームおおさか 8F 第 1・2 会議室
- 共催：帝塚山大学/NPO 法人 CCC-TIES
- 参加者：71 人(内 ライブ参加 31 人)

<プログラム>

基調講演:「オープンエデュケーションの現状と展望」

JOCW 事務局長/明治大学 特任教授 福原美三

特別講演:「TIES に期待すること」

東京家政大学 教授/日本ムードル協会 理事 松木孝幸

一般報告:「CHiLO Book とは」

NPO 法人 CCC-TIES 堀真寿美

事例報告:「大学初年度の数学基礎科目と CHiLO Book」

北海道大学 准教授 行木孝夫

事例報告:「CHiLOBook 作成事例「情報ネットワーク」

帝塚山大学 教授 日置慎治

(2) システム開発

従来の TIES を踏襲した大学連携による教育学習支援基盤である TIES V8 系、オープンエデュケーションを目的とした大規模オンラインコース基盤である TIES V9 系(CHiLOs システム)の二つのプロダクトに関して改修、開発を実施。

TIES V8 系

	TIES V8.4RC	TIES V8.7RC	TIES V8.6RC
LMS	Moodle2.3.1	Moodle2.5+	
Module		管理モジュール改修 TIES Skin バグフィックス	
VOD	Wowza 3.1.2		Wowza 3.6.2
Live	OpenMeetings 2.0		OpenMeetings 2.1.1
統一認証基盤	学認		

TIES V9 系

	TIES V9.0 α	TIES V9.1 β
フォーマット	iBooks	iBooks/ePub2
対応端末	iPad	iPad/iPhone/Android 端末/PC

LMS	Moodle2.3.1	Moodle2.6+
Module		CHiLO スキン
システム連携	Facebook	Facebook 連携
統一認証基盤		Facebook 認証

(3) 対外的な活動

計 6 回にわたり、当法人の活動及び CHiLO Books に関する報告を行った。

大学 ICT 推進協議会学習コンテンツ共有流通部会

- 部会報告(平成 25 年 6 月 6 日・東京)
報告タイトル:NPO 法人 CCC-TIES の取り組み-日本版 MOOC の可能性-
- 部会報告(平成 25 年 9 月 19 日・松山)
報告タイトル:CHiLOs Project-学習プラットフォームとしての電子教科書(ブック)機能と実践-

国立情報学研究所

- 第 15 回図書館総合展 国立情報学研究所開催フォーラム(平成 25 年 10 月 30 日・東京)
パネル参加:日本における MOOCs はどうなるのか?

日本 Moodle 協会

- 第 6 回日本ムードルムート(平成 26 年 2 月 20 日・沖縄)
キーノート発表 :ポスト MOOC 時代における Moodle への期待

CAUA(CTC アカデミックユーザーアソシエーション)

- CAUA FORUM2013(平成 25 年 6 月 14 日・東京)
報告タイトル : 日本におけるオープンエデュケーションの課題-大学コンソーシアム TIES のケーススタディ-
- CAUA シンポジウム 2013 (平成 25 年 12 月 2 日・大阪)
報告タイトル : ポスト MOOC と日本の大学経営

(4) 調査・研究活動

計6回にわたり、国内外の学会において、CHiLOs の研究成果を発表した。

「学認と電子書籍を利用したオープンエデュケーションツールの開発」

堀真寿美, 小野成志, 小林信三, 山地一禎

22 回インターネットと運用技術研究口頭発表(平成 25 年 8 月 1 日・東京)

高等教育機関におけるオープンエデュケーションの国際動向
これからの大学教育のための大規模オンラインコース基盤 TIES の構築
堀真寿美
情報処理学会誌 ペタ語義コーナー記事掲載(10 月号,11 月号)

One-on-One Approach for Open Online Courses Focusing on Large-Scale Online Courses
Hori, M., Ono, S., Yamaji, K., Kobayashi, S.
Proceedings of the 5th International Conference on Computer Supported
Education (6-8 May, 2013 Aachen, Germany)


Prototyping a new open education platform offering e-book based courses linked to
Moodle with federated authentication
Hori, M., Ono, S., Yamaji, K., Kobayashi, S., Kita, T.
moodle research (4-5 October, 2013 Sousse, Tunisia)

Peer-to-peer Learning on Large Scale Online Courses : Focusing on Lurkers
Hori, M., Ono, S., Yamaji, K., Kobayashi, S., Kita, T.
6th International Conference on e-Learning and Innovative Pedagogies
(14-15 November, 2013 Madrid, Spain)

(5) 放送大学 MOOC での利用

放送大学 MOOC プラットフォームに採択され、2コース 21 冊の CHiLO Books を制作し、提供した。

	コース名	講師	特徴
	NIHONGO STARTER A1 (英語)	放送大学 +国際交流基金コー スチーム (主任:放送大学教 授・山田恒夫)	全 10 冊

	<p>コンピュータのしくみ (日本語)</p>	<p>放送大学・学長 岡部洋一</p>	<p>全 11 冊 正規放送番組科 目をベース</p>
---	-----------------------------	-------------------------	-------------------------------------

CHiLO Books ダウンロード数(平成 26 年 6 月 2 日現在)

	Nihongo Starter	コンピュータのしくみ
Vol.1	913	1,577
Vol.2	433	999
Vol.3	200	874
Vol.4	239	740
Vol.5	166	715
Vol.6	165	590
Vol.7	205	618
Vol.8	192	724
Vol.9	183	557
Vol.10	200	588
Vol.11	—	546